



Title	メタフシカ 第36号 彙報
Author(s)	
Citation	メタフシカ. 2005, 36, p. 95-95
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/7372">https://hdl.handle.net/11094/7372</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 【彙報】

### ○ 哲学哲学史・現代思想文化学

現在、学部の哲学・思想文化学専修には、2年生7名、3年生4名、4年生10名が、大学院の哲学哲学史専門分野には、博士前期課程学生4名、後期課程学生7名が、大学院の現代思想文化学専門分野には、博士前期課程学生6名、後期課程学生6名が在籍しています。各教員は、臨床哲学所属の教員と連携しつつ、教育・研究指導に当たっています。

本年度の講義・演習は、「17世紀近世哲学における様相の問題ⅠⅡ」「スピノザ『エチカ』を読む」「フランス近・現代哲学史概説」「フランス哲学基本文献読解Ⅰ」（上野教授）、「カントおよびドイツ観念論の哲学」「カント解釈の諸問題」「カント『純粹理性批判』を読むⅢⅣ」「ドイツ哲学基本文献講読」（舟場助教授）、「現代哲学史概説」「英米哲学基本文献読解」「ニーチェを読む(2)(3)」「哲学と家族(2)(3)」（須藤教授）、「フランス哲学基本文献読解Ⅱ」「フランス近代哲学史概説」（望月助教授）という題目で行なわれています。また、その他に、修士論文・博士論文の作成演習が定期的に行なわれ、活発な研究・討論が行なわれています。

また、非常勤講師としては、伊豆蔵好美先生（奈良教育大学）に「ホッブズと17世紀哲学の諸問題」、加藤雅人先生（関西大学）に「西洋後期中世哲学における存在論の諸問題：トマス・アクィナス、ガンのヘリンクス、ドゥンス・スコトゥス」、入不二基義先生（青山学院大学）に「マクタガート時間論の検討」、美濃正先生（大阪市立大学）に「現代の哲学的行為論Ⅱ」という題目で講義をお願いしています。

哲学哲学史・現代思想文化学の研究会として、handai metaphysicaを開催することにしました。7月16日にはその第一回として、上野教授の『スピノザの世界 神あるいは自然』の合評会が行なわれ、活発な質疑応答がなされました。

哲学を音声で伝える試みとして、ウェブ・ラジオ局：ラジオ・メタフュシカを2月22日に開局しました (<http://radio.metaphusika.net/>)。また、海外に研究成果を発表するために、欧文雑誌 *Philosophia OSAKA* を発行する予定です。

上野教授が“Faith and Reason in Spinoza's *Tractatus Theologico-Politicus*”という題で、国際宗教学宗教史会議第19回世界大会(XIXth World Congress of the International Association for the History of Religions, Tokyo, 2005.3.29: Organized panel.)で提題発表しました。

入江教授は、ドイツ・パッサウ大学ならびにアメリカ・ピッツバーグ大学にて研究中です。吉永助手は9月30日付けで退職し、10月1日から岐阜聖徳大学にて助教授として勤務しています。佐々木前助手は4月1日から高知工業高等専門学校に勤務しています。

(中橋)

### ○ 臨床哲学

大学院（臨床哲学）には、看護・介護職などからの社会人入学者を含め前期課程8名、後期課程5名の計13名、学部（倫理学）は2年8名、3年生8名、4年生10名の計26名が在籍している。鷺田清一、中岡成文、本間直樹、紀平知樹の各教員が哲学哲学史、現代思想文化学の教員と連携しつつ、教育・研究活動に当たっている。

本年度の講義・演習は、「臨床哲学ネットワーク(1)(2)」(全教員)、「臨床哲学研究(5)(6)」(中岡、紀平)、「臨床哲学概論」(中岡、本間、紀平)、「倫理学概説」、「社会の中の人文科学」(21世紀COE科目)、「哲学のフィールドワーク(1)(2)ーイメージを読む」(以上鷺田)、「ひとは何を欲求するかⅢ、Ⅳ(生命の臨床)」(中岡)、「哲学的コミュニケーションの探求と実践」、「身体・無意識・社会(身体の臨床)」(以上本間)、「自然の価値と人間の地位(環境の臨床)」、「持続可能な開発の倫理(環境の臨床)」、「世界と生の関連(1)(2)(環境の臨床)」(以上紀平)、「生命のはじまりをめぐる倫理問題(生命の臨床)」(霜田講師)、「英語による三基本学芸一対話法・修辞法・文書法」(寺田講師)、「科学技術と倫理Ⅲ、Ⅳ」(21世紀COE科目、稲葉講師他)、「臨床医療の現場から」(21世紀COE科目、霜田講師他)。

なお4月1日付けで中岡がコミュニケーションデザイン・センター長を伴任し、本間が同センター専任講師に着任し文学研究科を兼任している。

(紀平)